

熊本地震（2016年）におきまして被災された皆様
に
こころよりお見舞いとお悔やみを申し上げます

このたびの熊本県を中心とする大きな地震は、今も余震が続いており、被災された皆様には、耐えがたい苦しみや不安、そして大きな悲しみを感じながらお過ごしのことと存じます。被災されたことへのお見舞いと、ご親族やお知り合いを亡くされたことへのお悔やみを申し上げます。そして、皆様が、被災地を支援しておられる方たちとともに、この状況の中で懸命に復興への努力をなさっていらっしゃることに敬意を表します。皆様の努力が徐々に成果をあげられることを信じております。

今回の地震においての短期的な医療支援や臨床心理面の援助については、私たち日本精神分析学会は、直接は関わっておりません。一部の会員が、全国の災害派遣医療チームの活動や臨床心理士会の支援活動に参加するという形で、間接的に関わっています。私たちは、ふだんから、心的外傷を含めて、喪失体感、破局体験を生き抜こうとするこころの援助にかかわり続けてまいりました。今後、長期的な視点に立って、被災された皆様のこころの健康の支援のために、私たちが獲得してきた経験や智恵を生かしたいと存じます。

皆様は、おひとりではありません。誰かがきつといてくれます。皆様の心の回復を支えるのは、人と人のこころのつながりの力が大きいと思います。私たちには、回復する力がそなわっています。このような大きな災害のときを被災された皆様のこころに添い続け、ともに生きて行きたいと私たち日本精神分析学会一同は思っております。

最後になりましたが、被災された皆様に復興と平穏の日が訪れることを、こころよりお祈り申し上げます。

平成 28 年 5 月 1 日

日本精神分析学会

会長 生地 新

会員の皆様へ

現在、現地の情報を収集しております。

地震への支援の体制が整い次第、みなさまにご報告いたします。

会員の方で、被災された方がいらしたら、可能な範囲で被災状況について、事務局までご連絡下さい。

学会事務局